



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東
コード番号 7809 URL <https://company.kotobukiya.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清水 一行
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 村岡 幸広（TEL）042-522-9810
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年6月期第2四半期の業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	7,376	△24.9	466	△72.5	430	△73.5	293	△73.9
2023年6月期第2四半期	9,824	36.5	1,695	27.1	1,623	24.0	1,121	22.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期第2四半期	36.95		36.50					
2023年6月期第2四半期	142.20		139.77					

（注）当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	11,305	6,405	56.7
2023年6月期	11,510	6,356	55.2

（参考）自己資本 2024年6月期第2四半期 6,405百万円 2023年6月期 6,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年6月期期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 創立70周年 記念配当 10円00銭

当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、2024年6月期（予想）については当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△11.6	1,500	△42.6	1,455	△42.8	1,010	△42.5	127.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期2Q	8,444,700株	2023年6月期	8,440,200株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年6月期2Q	510,001株	2023年6月期	513,201株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期2Q	7,930,582株	2023年6月期2Q	7,890,171株
------------	------------	------------	------------

(注) 1. 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式」、「期末自己株式」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 期末自己株式には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2024年6月期2Q 301,600株、2023年6月期 304,800株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2024年6月期2Q 302,709株、2023年6月期2Q 304,800株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和やインバウンド需要の回復等により、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢に起因する国内外の経済活動への影響、円安の進行及びエネルギー・原材料価格の上昇などにより、先行きが非常に不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社は世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP (Intellectual Property: キャラクターなどの知的財産) による製品開発に特に注力してまいりました。

国内市場におきまして、プラモデル製品の展開については、2023年10月に自社IP製品『メガミデバイス』より「皇巫スサノヲ レガリア」、2023年11月に自社IP製品『アルカナディア』より「ルミティア ReACT-A」、2023年12月には自社IP製品『創彩少女庭園』より「佐伯リツカ [水着]」、自社IP製品『フレームアームズ・ガール』より「フレームアームズ・ガール ドゥルガーII」等を発売し、これらの製品が売上に貢献しましたが、今般の美少女プラモデル市場における競合企業増加による競争激化を要因として、当該カテゴリー全体の売上は伸び悩みました。他方、フィギュア製品の展開については、2023年10月に『にじさんじ』に所属するバーチャルライバー「戌亥とこ」等が売上に貢献しました。

海外の北米地域におきましては、ニューヨークにて開催された「ニューヨーク・トイフェア2023」に出展し、プロモーション活動と新規取引先の開拓を積極的に行いましたが、前年同期と比較して、売上に貢献したアイテムの件数が減少したことを主要因として、当該地域の売上は伸び悩みました。

アジア地域におきましては、『ARTIST SUPPORT ITEM』より「ハンドモデル/R」、『ポケットモンスター』より「ARTFX J ヒカリ with ナエトル」がフィギュア製品の売上に貢献しましたが、プラモデル製品の売上は伸び悩みました。

直営店舗による小売販売につきましては、店舗キャンペーンの実施や『にじさんじ』関連商品が堅調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和に伴う訪日外国人客の増加により、各店舗の売上は大きく増加しました。また、2023年10月には、コトブキヤ秋葉原館に屋外大型ビジョン「コトブキヤビジョン・アキバ」を新設しました。オリジナル映像やコトブキヤに関するタイムリーな情報を発信しており、今後は「コトブキヤビジョン・アキバ」を使用して、コトブキヤ秋葉原館5階イベントスペース (コトブキヤベース・アキバ) で開催されるイベントとの連動や各種プロモーションを展開する予定です。

しかしながら、前事業年度と比較して、当事業年度は製品リリースのタイミングが下半期に集中していることや、高インフレ環境に伴う原材料費上昇等による製品仕入コストの上昇を主要因として、当第2四半期累計期間の売上高は7,376,647千円(前年同期比24.9%減)、営業利益は466,178千円(前年同期比72.5%減)、経常利益は430,454千円(前年同期比73.5%減)、四半期純利益は293,043千円(前年同期比73.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は11,305,774千円となり、前事業年度末に比べ205,037千円(1.8%)の減少となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は7,420,210千円で、前事業年度末に比べ305,646千円(4.0%)減少しております。これは商品及び製品の減少285,313千円があったことが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は3,885,563千円で、前事業年度末に比べ100,608千円(2.7%)増加しております。これはその他に含まれる建設仮勘定の増加75,883千円、無形固定資産の増加39,247千円があったことが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は2,650,617千円で、前事業年度末に比べ7,616千円(0.3%)増加しております。これは未払法人税等の減少299,264千円、その他に含まれる契約負債の減少146,554円があった一方で、短期借入金の増加700,000千円があったことが主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は2,249,905千円で、前事業年度末に比べ261,690千円(10.4%)減少しております。これは長期借入金の減少281,096千円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は6,405,251千円で、前事業年度末に比べ49,035千円(0.8%)増加しております。これは四半期純利益293,043千円の計上があった一方で、配当金の支払246,953千円があったことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ32,406千円減少し、1,525,269千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額429,205千円等の減少要因があった一方で、税引前四半期純利益430,454千円の計上、減価償却費558,691千円の計上による資金の増加を主な要因として、612,032千円の収入となりました(前年同期は955,120千円の収入)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出619,292千円、無形固定資産の取得による支出52,857千円の減少を主な要因として、743,006千円の支出となりました(前年同期は693,256千円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出340,942千円、配当金の支払額246,208千円等による資金の減少があった一方で、短期借入れによる収入700,000千円による資金の増加を主な要因として113,700千円の収入となりました(前年同期は650,180千円の収入)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年8月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細は、本日(2024年2月14日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,237,308	3,273,922
売掛金	1,870,218	1,720,752
商品及び製品	1,233,006	947,692
仕掛品	552,518	569,283
貯蔵品	4,328	4,897
前渡金	393,428	535,968
前払費用	424,272	360,754
その他	10,775	6,938
流動資産合計	7,725,857	7,420,210
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,644,033	1,630,109
土地	802,784	802,784
その他(純額)	677,115	747,266
有形固定資産合計	3,123,934	3,180,161
無形固定資産	65,554	104,802
投資その他の資産	595,466	600,600
固定資産合計	3,784,955	3,885,563
資産合計	11,510,812	11,305,774
負債の部		
流動負債		
買掛金	389,745	343,904
短期借入金	200,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	659,720	599,874
未払法人税等	456,972	157,707
賞与引当金	64,832	66,926
その他	871,731	582,204
流動負債合計	2,643,000	2,650,617
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,926,693	1,645,597
株式給付引当金	24,076	27,381
退職給付引当金	158,664	168,400
役員退職慰労引当金	236,025	242,300
資産除去債務	20,949	21,039
その他	45,186	45,186
固定負債合計	2,511,595	2,249,905
負債合計	5,154,596	4,900,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	458,999	459,424
資本剰余金	421,499	421,924
利益剰余金	5,783,257	5,829,347
自己株式	△307,540	△305,445
株主資本合計	6,356,215	6,405,251
純資産合計	6,356,215	6,405,251
負債純資産合計	11,510,812	11,305,774

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	9,824,953	7,376,647
売上原価	6,360,690	5,152,442
売上総利益	3,464,262	2,224,205
販売費及び一般管理費	1,769,097	1,758,026
営業利益	1,695,165	466,178
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	345	338
受取手数料	48	86
助成金収入	209	-
保険解約返戻金	293	601
その他	780	524
営業外収益合計	1,677	1,550
営業外費用		
支払利息	16,232	10,293
為替差損	56,203	26,571
その他	414	409
営業外費用合計	72,850	37,274
経常利益	1,623,992	430,454
税引前四半期純利益	1,623,992	430,454
法人税、住民税及び事業税	510,433	142,394
法人税等調整額	△8,426	△4,983
法人税等合計	502,007	137,411
四半期純利益	1,121,985	293,043

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,623,992	430,454
減価償却費	444,603	558,691
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,372	2,094
株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,486	5,400
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,363	9,736
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,250	6,275
受取利息及び受取配当金	△345	△338
助成金収入	△209	-
支払利息	16,232	10,293
為替差損益(△は益)	37,933	16,885
売上債権の増減額(△は増加)	△570,824	149,466
棚卸資産の増減額(△は増加)	△223,925	267,979
仕入債務の増減額(△は減少)	△137,780	△45,840
前渡金の増減額(△は増加)	259,742	△142,539
前払費用の増減額(△は増加)	12,574	63,587
その他	80,534	△280,916
小計	1,563,001	1,051,228
利息及び配当金の受取額	355	344
利息の支払額	△16,335	△10,335
助成金の受取額	209	-
法人税等の支払額	△592,110	△429,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	955,120	612,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,258,961	△1,509,629
定期預金の払戻による収入	1,189,425	1,440,608
有形固定資産の取得による支出	△600,315	△619,292
無形固定資産の取得による支出	△20,896	△52,857
その他	△2,507	△1,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△693,256	△743,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,250,000	700,000
短期借入金の返済による支出	△900,000	-
長期借入れによる収入	800,000	-
長期借入金の返済による支出	△313,082	△340,942
株式の発行による収入	3,742	850
配当金の支払額	△190,479	△246,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	650,180	113,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,631	△15,133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	876,413	△32,406
現金及び現金同等物の期首残高	422,576	1,557,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,298,990	1,525,269

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。